



共通

共通			
商業地	複合市街地	住宅地	田園・緑地

### 景観形成方針

敷地利用	<p>現況の地形を生かした敷地利用を図る。</p> <p>前面道路に対してゆとりをもった配置とする。</p> <p>駐車場等は、前面道路からの見え方に配慮した配置とする。</p> <p>大規模な敷地では、街角空間の創出や公開空地の設置等、歩行者にとってやさしさの感じられる整備に努める。また、前面道路の歩行者空間が不十分な地区においては、歩道状の空地を確保する。</p>
建築物等の外観 (色彩を除く)	<p>街並みと調和した規模、高さ、形態および意匠とする。</p> <p>美しいスカイラインを形成する屋根の形態および意匠とする。</p> <p>素材は周辺と調和し、かつ時間とともに味わいが出る、耐久性の高いものとする。</p> <p>金属やガラスなど反射率の高い素材は、周辺に対し長時間太陽光を反射することのないよう配慮する。</p> <p>大規模な建築物にあっては、圧迫感の軽減に努めるものとし、分節化をする等、適度に变化のある外観とする。</p>
建築物等の色彩	<p>色彩は、街並みの調和に配慮し、地域の色彩環境から突出する色使いを避ける。</p>
接道部・緑化 (生垣、フェンス)	<p>敷地内の緑化に努め、周囲からも眺められるように工夫する。</p> <p>壁面後退部分の舗装仕上げは、歩道との連続性を図る。</p> <p>歩行者の視線の高さを超える透過性の無い塀やフェンス等の設置は避ける。</p> <p>前面道路から見える位置にある駐車場・駐輪場は、緑化や修景に努める。</p> <p>高さ10mを超える既存樹木については保全する。</p> <p>道路に面する部分の木竹は伐採を避ける。やむを得ず伐採する場合は、代替え植栽に努める。</p> <p>大規模な建築物にあっては、出入口やアプローチの周辺について、植栽などによりうるおいを演出する。</p>
広告物	<p>建築物とのバランスや街並みとの調和に配慮した大きさ・デザインとする。</p> <p>広告物の表示は最小限とする。</p> <p>同一壁面に表示内容が同じものを複数設置しない。</p> <p>色彩は、原色や多色使いを避け、建築物の地色や街並みと調和した配色とする。</p>
夜間景観	<p>過度な夜間照明は避ける。</p>
付帯設備	<p>機械室、ゴミ置き場、屋外階段、その他付帯設備等は、目立たないように配置するか、建築物本体と調和した形態とする。</p>
擁壁(ようへき)	<p>擁壁の仕上げは、無機質、単調な表情とならないよう配慮するか、緑化等による修景を行う。</p>
電線等	<p>電線等が道路を横断する場合には、できる限り横断箇所を集約する。</p> <p>電線等を建築物へ架線する場合は、できる限り集約をしたり、裏通り配線等とする。</p>



地形をいかした敷地利用



圧迫感を軽減する建物形態



統一感のある色彩



駐車場周辺部の緑化